



学校経営書



一とおつおおみの曳馬野に
もとい定めしわが母校
そでしの里にのぼる日は
たかきのぞみのしるしなり

二雲を呼ぶ遠州灘よ
松が枝にすさぶあらしよ
ここにわれらたゆまぬ心を
つちかいゆかん

三みはるかす富士がねの雪
ほたるとぶ馬込の流れ
ここにわれら学びのわざを
いそしみつまん

四わかきわれらがその胸に
いだく理想は真善美
良き友つねにはげみ合い
良き師かこみてむつみ合う
丸塚おおわが母校

作詞 日野 幸子
作曲 奥村 唯夫

学校の沿革

昭和

36 浜松市立東部中に分校設置

37 浜松市立丸塚中学校設立

48 体育館竣工

49 プール完成(50m)

52 運動場夜間照明設置

53 文部省 体力作り指定研究発表¹

56 創立20周年記念行事

57 給食室完成

60 青少年育成指定地区に認定

61 特別活動室竣工

63 市教育委員会指定 生徒指導開発研究発表¹

平成

3 運動場部室竣工

4 技術棟竣工

7 市教育委員会指定 図書館教育推進事業¹

9 プール更衣室改築工事完了

11 静岡県福祉教育実践校

12 校舎改築工事着工

13 新校舎竣工

13 創立40周年記念行事 落成式

15 市教育委員会指定 授業改善研究発表¹

17 体育館耐震工事完了

19 「Pハママ体験学習」開始

21 校内研修リーダー養成研修会場校

22 「挨拶運動協力校」指定(平成23)

21 体育館トイレ改修工事 体育館内壁改修工事

29 市教育委員会指定 授業改善研究発表¹

30 発達支援学級(知的)新設

平成30年度浜松市教育委員会指定

¹ 発達障害に関する教職員等の理解啓発

² 専門性向上事業

浜松市立丸塚中学校

〒435-0046 浜松市東区丸塚町1050番地

Tel<053>461-8724 Fax<053>463-9014

<http://www.hamamatsu-szo.ed.jp/maruzuka-j/>

令和3年度 浜松市立丸塚中学校 グランドデザイン



校訓 誠 実

丸塚中学校区が目指す子供の姿
大が好き 学校が好き この街が好き

学校教育目標

「志を持ち 自ら学び 良さを伸ばし合う生徒」の育成

目指す学校像

明日も来たくなる丸塚中学校

～誰もが安心して学ぶことができる居心地の良い学校～

生命尊重を基盤とした『真善美』（生きる品格）の追求

目指す生徒像

知『学ぼう』とする心	徳『認め合おうとする』心	体『コントロールする』心
<p>○自ら学ぶ生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の定着 ・課題の明確化 ・指導法の工夫 ・学習習慣の定着 <p>「主体的・対話的で深い学び」</p>	<p>○正しく判断し行動する生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事への取り組み (縦割り活動の効果的活用) ・道德教育の充実 ・人権意識・規範意識の定着 ・部活動の教育的意義の再確認 	<p>○心身を鍛える生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を鍛え、自信を持つ ・自分を表現することができる ・自分を振り返り見つめ直す ・自分の感情を制御する ・自己の課題解決に迫ろうとする
<p>キャリア教育で育成する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆課題対応能力 ☆人間関係形成・社会形成能力 ☆キャリアプランニング能力 	<p>キャリア教育で育成する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆自己理解・自己管理能力 ☆人間関係形成・社会形成能力 	<p>キャリア教育で育成する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆自己理解・自己管理能力 ☆人間関係形成・社会形成能力

令和3年度の重点

学年・学級づくりを基盤とした学校

○生徒一人一人に寄り添い、「認め・褒め・励ます」

- ・一人一人の良さを認め、可能性を引き出し伸ばす指導を目指す。
- ・一人一人の生徒の心に寄り添った丁寧な指導を実践する。
- ・生徒の自信を育むため、成功体験を積み重ねる。
- ・安心安全な学校生活を保障し、自尊感情を育む。
- ・役割分担や活躍する場を設定し、居場所と出番を作る。

○職員研修を軸に「学び続ける教師」「共に学び伸ばし合う教師集団」

- ・体験的な学習の指導を工夫し、キャリア教育を核とした人づくりの推進
- ・学習の基礎・基本の定着と深化・充実を図る。
- ・3つの力（見通しをもつ力 対話する力 お互いを認める力）を育成する。
- ・「困難を乗り越える場」としての価値を再確認し、「たくましさを持った生徒」を育成する。
- ・生徒理解と人間関係の耕しをさらに進める。

家庭・地域と相互に連携・協働する学校

目指す教師像

教職に誇りを持ち、生徒・保護者・地域・同僚から信頼される教師

日課表

	月(朝読書)	水・金(朝読書)	火・木(朝清掃)
登 校	～ 8:00		
朝読書・朝の会	8:05～ 8:15	8:05～ 8:15	8:05～ 8:10
朝の会・清掃	8:15～ 8:25		
1 校 時	8:35～ 9:25		
2 校 時	9:35～10:25		
3 校 時	10:35～11:25		
4 校 時	11:35～12:25		
給 食	12:25～13:00		
昼 休 み	13:00～13:30		
5 校 時	13:30～14:20		
6 校 時		14:30～15:20	
帰りの会	14:30～14:45	15:30～15:45	
専門委員会 (第1月)	14:55～		
職員会議・校内研修 (第3・4月)	15:05～		

年間行事

【 1学期 】

4/ 7 始業式・入学式
5/11・12 野外活動(2年)
6/ 7・11 定期テストⅠ
7/21 終業式

【 2学期 】

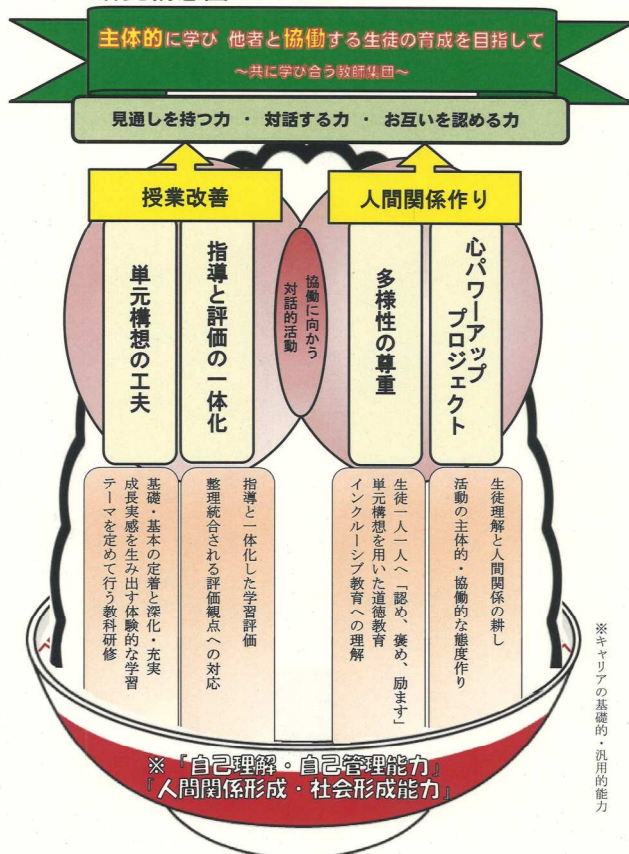
8/27 始業式・防災訓練
9/ 3 県学力診断(3年)
/22 学芸発表会(アクト大ホール)
10/13 校内体育大会
/21 定期テストⅡ
11/15・19 定期テストⅢ
/30 県学力診断(3年)
市学力調査(2年)
12/12～14 修学旅行(3年)
/22 終業式

【 3学期 】

1/ 6 始業式
/13 県学力診断(1・2年)
2/18 定期テストⅣ
3/17 修了式
/18 卒業式
/28 離任式

校内研修

R3 研究構想図



本校では、2016年度より、「つながりを意識した授業の創造」「生徒理解と人間関係の耕し」の2つの柱を中心に研修を進めてきた。昨年度は研修テーマを「主体的に学び他者と協働する生徒の育成を目指して～新学習指導要領実施に向けて～」と設定し、「授業改善」や「人間関係作り」について見直すとともに、今年度から実施される新学習指導要領について理解を深めることとした。

生徒たちに「主体的」で「協働的」な態度や学びを求めるのであれば、私たち教員もまたそうでなくてはならない。そこで、今年度の校内研修テーマを「主体的に学び他者と協働する生徒の育成を目指して～共に学び合う教師集団～」と設定した。一つ目の柱では「単元構想」をより効果的に取り入れていく。生徒たちに成長実感をもたらすために、目標を明確にした上で体験的な学習を行う。過程を重視した学習により、基礎・基本を定着させ、さらに深化・充実を図りたい。また、教科研修では、教師間の学び合いの場を確保する。評価の観点が整理統合される「学習評価」についても、「指導と評価の一体化」を前提として、その妥当性や信頼性を高めるよう、組織的かつ計画的な取組をしていきたい。二つ目の柱では「多様性の尊重」への意識を高めていく。単元化した道徳の授業や、インクルーシブ教育についての理解を深める研修を取り入れ、生徒一人一人に寄り添い、効果的に「認め、褒め、励ます」基盤を調える。また「心パワーアッププロジェクト」を通してよりよい人間関係を作っていく。それぞれ個々のよさを生かした主体的で協働的な態度を育てていきたい。これら二つの柱の取組みにより、効果的な「協働に向かう対話的活動」を成立させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現をしていきたいと考える。

学校運営組織

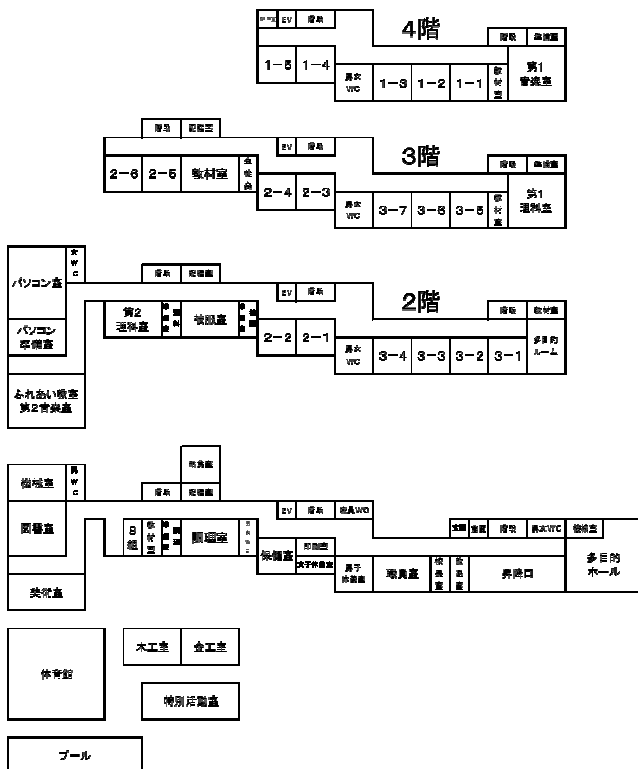
校長	高柳 慎二	事務職員	稲生久美子	キャリア教育推進教師	大鹿 純	校務アシスタント	石津谷訓子
教頭	神谷 利之	栄養教諭	岩下なみ江	教諭	鈴木 茂樹	部活動指導員	市川 達也
教務主任	村上 純也	道徳主任	松島 雪乃	スクールハブ	大村 栄美	部活動指導員	清水 一人
生徒指導主事	中井 浩行	(道徳教育推進教師)		A L T	キョウコ=フロント	部活動指導員	二瓶 恵介
研修主任		足立奈津子	特別活動主任	小杉 和也	スクールカウンセラー	奈木多佳子	
進路指導主事	和久田伸介	学校図書館	吉田 遥	スクールソーシャルワーカー	竹田紗由里		
養護教諭	名倉 宏美	発達支援学級	堀江 弘人	適応指導教室支援員	西岡 幸子	教職員数	36名
		発達支援コーディネーター		図書館補助員	鈴木 昌子	支援員等	10名

学年・学級編成 (令和3年5月8日現在)

学年	1年			2年			3年					
学年担当	主任			主任			主任					
	副主任			副主任			副主任					
組	男	女	計	学級担任	男	女	計	学級担任	男	女	計	学級担任
1	17	17	34	小杉 和也(社)	14	17	31	小枝 善憲(体)	16	16	32	太田 賢(数)
2	16	17	33	望月 雄斗(理)	14	17	31	村木 麻依(家)	14	17	31	伊藤 俊亮(技)
3	18	15	33	吉田 遥(国)	15	16	31	伊熊 英李(英)	15	17	32	大石 茜(体)
4	17	15	32	浅井 大輔(国)	14	17	31	山本 恭平(数)	15	16	31	高澤 広之(理)
5	16	18	34	柴田 侑子(社)	15	16	31	泉澤 留美(英)	15	17	32	藪原 大樹(国)
6					15	17	32	大鹿 純(国)	15	16	31	今田 美幸(理)
7									14	17	31	足立奈津子(英)
F				小杉 友久(数)				菅沼 彩(数・理)				松島 雪乃(美)
F								南田 明宏(数)				
8	1	0	1	堀江 弘人(数)	3	1	4	堀江 弘人(数)	1	1	2	堀江 弘人(数)
計	85	82	167		90	101	191		105	117	222	

全校生徒
男
280
女
300
合計
580

教室配置



部活動

	顧問
男子バレー	大鹿 純 和久田伸介
女子バレー	望月雄斗 今田美幸 南田明宏
卓球	伊熊 英李 菅沼 彩
陸上競技	鈴木勝治 村木麻依 伊藤俊亮
男子バスケット	小杉 和也 鈴木 茂樹 大石 茜 堀江 弘人
女子バスケット	浅井大輔 堀江弘人 大石茜
サッカー	小枝 善憲 中井 浩行
野球	高澤 広之 山本 恭平
女子ソフトテニス	太田 賢 柴田 侑子
剣道	吉田 遥 小杉 友久
水泳	藪原 大樹 芦田 昌子
駅伝	体育科 山本 望月 伊藤 村木
吹奏楽	村上 純也 宮本 裕樹
美術	松島 雪乃 沖田 敦子
パソコン	足立奈津子 泉澤 留美 伊藤 俊亮